

キャラクター名  
萩原 猪折 (ハギワラ・イオリ)

プレイヤー名

シンドローム	キュマイラ		ワークス	FHチルドレンA	カヴァー	高校生
	モルフェウス					
オプション			年齢	17	性別	男
覚醒	素体	衝動	吸血		初期侵食率	40 %
出自	天涯孤独	経験	実験体		邂逅	居場所

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	35
肉体	4	1	0	2		7	行動値	8
感覚	2		0			2	(非装備時)	8
精神	0		0	1		1	戦闘移動	13
社会	2		0			2	全力移動	26

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵	11	3	射撃			RC	1		交渉		
回避	1		知覚			意志		-3	調達	4	
運転:			芸術:			知識:			情報:	FH	1
運転:			芸術:			知識:			情報:	UGN	1
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
ツツカ	白兵	10r+9	8	23		侵蝕率+2、【行動値】-5
↑ネームド		0				大太刀・笹霰河内守国助

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

所持品	
《黄金鍊成》	
AIDA	
精神強化手術	
ウェポンケース	

合計装甲: 0    合計回避: 0

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイムス	消費
	P	N		
装着者	P	N		
結塚晶(WH)	P 傾倒	N 不安		
	P	N		
	P	N		
	P	N		
	P	N		

最大財産P: 12    残り財産P: 1

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果: 非オーヴァードのエキストラ化								
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果: コスト分のHPで復活								
クイックダッシュ	1	4	セット	至近	自身	自動	-	
効果: 戦闘移動、[LV]回/シナリオ								
コンセ:キュマイラ	2	2	メジャー	-	-	-	-	
効果: C値-[LV](下限7)								
パワースイング	3	3	メジャー	武器	-	対決	-	
効果: 攻撃力+[LV*3]、判定ダイス-1								
復讐の刃	2	6	オート	至近	単体	対決	-	
効果: リアクション放棄で攻撃、C値-[LV](下限7)								
血染めの獣	1	4	オート	至近	自身	自動	120	
効果: HPダメージ後シーン間白兵攻撃力+10 (3回/重複)、[LV]回/シナリオ								
黄金鍊成	3	-	常時	至近	自身	自動	-	
効果: 常備化P+30[LV*15]								
獣の直感	★	-	メジャー	至近	自身	自動	-	
効果: 環境の変化を読み取る								
死の眼光	★	-	メジャー	至近	単体	自動	-	
効果: 相手を威圧し命令を行う								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								

親族がいらないことで戦闘支援AIのレネゲイドを移植された少年の一人。彼に与えられた『刻銘』は“笹霰”。刀の切れ味を表現する截断銘を持ち、それに違わぬ攻撃力を有している。複数人いた成功例の子供達と競い合わされ、その結果彼だけが『刻銘』の生き残りとなった。AIDA移植の副作用として色の認識能力を失っている。彼の目に映る世界は常に白黒であり、色を持たない。一般的なものの色は認知しているが、初めて見るものの色は濃淡で大雑把にしかわからない。

最低限レネゲイドの取り扱い訓練は受けているのだが、能力を組み合わせることは不得手。戦闘スタイルは手数や小手先で攻めるのではなく、一撃で仕留めるスタイル。敵対し生き残った者はロ々に、「レネゲイドの衝動すら飲み込んで戦う」と言うのだが、実際には衝動の赴くままに戦っているだけである。ただし生きるために戦っているのもまた事実であり、そういった点では衝動と共存しているとも言えるのかもしれない。野生的動が鋭く、その本能に従っている。文明人らしさに欠けており、大雑把であるとも言える。モルフェウスシンドローム特有の『創造』の能力も、『声を聴く』能力も著しく欠如している。ただし地頭は悪くはない。

自身の意思というものが薄く、他者に対する関心も薄い。自分たちが使い捨てられる道具に過ぎないと思っていることや、他者に同情することが弱さとなる環境で育ったことが原因であり、命令に対して疑問を持つことも口答えすることもない。口癖は「どうでもいい」。組織に必要とされているのが彼の能力であるのか、人工知能移植実験の成功例であるかど彼にとっては関係がなく、本当に重要なことは生きることだけである。

潜入に際して「人間らしく振る舞うように」という指示を受けたため、ある日対峙したUGNチルドレンの一人が所持していた品を奪い取り、まるで自身が大切にしているかのように所持している。こういったものに執り所を求めるのが人間であろうと、彼は思っている。また「萩原猪折」という名も潜入の際に与えられた名であるため、馴染みがなく呼ばれても稀に反応しないことがある。「達斬(辻斬り)」に関しては、稀にUGN側から二つ名の様に呼ばれることもあったため、そこまで違和感はない。